

PCR検査センター設置など共産党市議団が「新型コロナに関する緊急要望書」を提出



●17日、市長あてに「新型コロナウイルスに関する緊急要望書」を提出する日本共産党八王子市議会議員団(鈴木ゆうじ市議(右側奥)とアオヤギ有希子市議(右側手前))

●市独自の「新型コロナ外来施設」整備すると回答

4月17日、共産党八王子市議団は3月に続き「新型コロナウイルスに関する緊急要望書」を市長あてに提出しました。木内副市長と、総合経営部長が対応しました。木内副市長は「4月に入って状況が新たな段階にきており、市として新型コロナ外

【緊急要望のおもな内容】

- 市独自の感染検査体制の確立と病院への支援
- 軽症者の宿泊・療養施設の設置
- 学童保育の指導員、保育士などへの支援
- 市内業者への補償や支援
- 国民健康保険税の値下げ
- 休校中の学習や給食の支援

来施設を設置したい。また新たに医療保険部地域医療体制整備担当課長を配置した」と述べました。

感染拡大をこれ以上広げないためにも、また医療従事者を感染から守るためにも、さらに市独自のドライブスルー方式などPCR検査の拡充が必要です。党市議団は、引き続き、皆さんから寄せられたご意見やご要望を市政に届け、その実現に力を尽くします。

●国民健康保険の傷病手当金制度創設へ

党市議団は、国保加入者が新型コロナウイルスに感染して、仕事を休んだ場合、被用者保険のように給与の6割を保障する傷病手当金制度を、国民健康保険にも適用するように求めてきました。

国からの通知では、適用できる対象が「被用者」とされ、フリーランスや自営業者、農業者などは除外されています。しかし共産党国会議員団の論戦によって、自治体の判断でフリーランス、自営業者などにも対象を拡大できることが国から示されました。党市議団は、市に対してフリーランスや自営業者にも感染し休業した場合の所得補償を求めていきます。

八王子市コールセンター

新型コロナウイルス感染症に関することや、心配事など、日常生活の様々な疑問や悩みの相談に対応する窓口を開設しています。

新型コロナウイルス感染症に関するコールセンター

でんわ 620-7253

FAX 620-7322

午前9時～午後5時(土日、祝日を除く)

八王子市 新型コロナ対策に10億3300万円の補正予算案

21日、八王子市から共産党市議団に対し新型コロナウイルス感染症から市民の生命・財産・生活を守るための補正予算案の説明がありました。

補正予算額は、合計で10億3300万円を計上しています。



●21日、新型コロナ対策の補正予算案の説明を受ける八王子市議団

「新型コロナウイルス感染症対策地域医療体制整備」として、①軽症者の受入用宿泊施設の借上げ、②新型コロナ

ナ外来整備、③病床確保、④医療従事者への支援に10億円計上されます。また、中小企業支援として経営指導員や相談体制の強化に1385万円、マスク購入費に約1975万円を計上し、専決処分される予定です。

共産党市議団は引き続き、市民の命と暮らしを守る八王子市政へ、皆さんと力を合わせて取り組みます。みなさんのご意見やご要望などお寄せ下さい。

市内の新型コロナウイルス感染者数

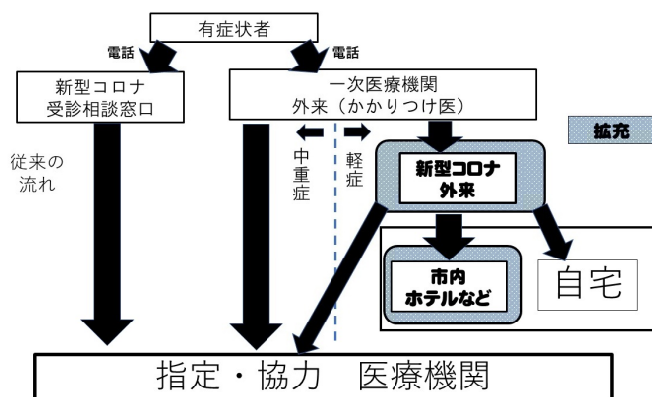
(市ホームページより4月21日現在)

35人

(うち9人が退院等)

感染者の方々は医療機関にて治療を行っています。

市保健所において、既に感染者やご家族、濃厚接触者に対する必要な対応を行っています。



●新型コロナ感染検査体制の流れ(網かけ部分が補正予算拡充)